

公開質問状に対する中国電電力の回答報告

2014年10月28日 原発ゼロをめざす島根の会

中国電力の回答は、文書で無く口答でありました。マスコミ各社の取材もありました。回答の要旨を以下に記します。(番号は、公開質問状の項目番号に合わせました)

1. 原発はバランスの取れた電源確保のために必要であり、再稼働の準備を進めている。
2. 三隅火力2号機の建設などについては、まだ何も決まっていない。
但し、石炭火力は地域の偏りもなく価格も安定しており、国のエネルギー基本計画でも重要なベースロード電源と位置付けられている。
3. オール電化は、お客様のニーズに沿ったものである。
電気エネルギーの効率的利用に應えるものとして、省エネを推奨し、広報している。
4. 再生可能エネルギーは、重要なエネルギーだと考えている。しかしそのエネルギーは、電源として不安定で、拡大していくには、電気料金や税金といった形で利用者のみなさんの負担が必要になる。

ゼロの会からの文書回答の求めには一切応えようとせず、「関電への入札は検討中であり、三隅火力2号機の新設計画に関わる質問には、一切答えられない」と、木で鼻をくくったように繰り返すのみでした。